

ほほえみ通信

2020/7/29 発行

第132回 ほほえみ 開催

7月15日(水)第132回 ほほえみを開催しました。
 COVID-19の影響で2月より活動を休止していましたが、感染予防対策を講じた上で、7月より活動を再開しました。
 今回は2名の方が参加してくれました。まだまだ終息は見えておらず参加される方も少ないとは思いますが、皆さんが集える場所を守っていきたくと思います。

なお、参加に際しましては、感染予防対策のため、手指消毒・検温・連絡先の確認(感染予防にのみ使用します)をさせていただいておりますので、ご協力をお願い致します。

次回のほほえみは、8/19(水)14時から16時まで
 本館3階 特別会議室での開催となります

【がんサロン事務局より】

がんサロン“ほほえみ”
開催にあたって

- * 皆様のご使用になる前に、机・椅子・ドアノブなど、手が触れる部分を消毒してあります。
- * 30分おきに、換気をさせていただきます。
- * マスクは付けたままでご参加下さい。
- * 石鹸で手を洗った後に、消毒液を付けていただきます。
- * 参加者名簿に名前と電話番号の記載をお願いいたします。

『がんとコロナ』

(がん体験記)

世界を震撼させている新型コロナウイルス。このサロンも5か月ぶりの再開となりました。

長い自粛の間、テレビを点ければ「コロナ」「コロナ」。
 明るいニュースがないことに、心も身体も疲弊した日々でした。

そんな中、感じたことがありました。それは、
 「“がん”と“コロナ”って、ちょっと似ている」ということでした。
 それは、ウイルスは目に見えないこと。そしてヒトの身体に入り込み、細胞の中で増殖していくこと。陰性になっても再び陽性反応が出る“再燃”も報告されているようです。
 がんも細胞レベルでは目には見えません。そして身体の中で増殖し続け、手術・治療を終えても再発することがあることです。

もちろん、外部から侵入するウイルスと自らの細胞とは全く違います。
 でも、完治するまでのしつこさや特効薬がないこと、なかなか収束が見えないことに、そんなことを重ねてしまったのです。

どちらにしても、新型コロナウイルスのワクチンや治療薬が少しでも早く開発されてほしい。そして、がんも同じく、“完治するための治療や薬”に期待したい。
 それはきっと、誰もが願っていることでしょう。

一日でも早く、以前の生活が戻りますように・・・。

(北海道/女性/乳がん/がん患者本人)